

オンラインセミナー「新たな局面を迎えるマレーシア～将来を読み解くための視点～」を開催（日本マレーシア経済協議会主催）

日本・東京商工会議所 国際部に事務局を置く日本マレーシア経済協議会（会長＝永野毅・東京海上ホールディングス株式会社 取締役会長）は7月13日、オンラインセミナー「新たな局面を迎えるマレーシア～将来を読み解くための視点～」を委員企業向けに開催した。在マレーシア日本大使館での勤務経験があり、現在、クロール・シンガポール ジャパンデスクのシニアバイスプレジデントを務める川端隆史氏を講師に迎え、30名を超える参加者を得た。

本セミナーでは、マレーシアの現在の不安定な政治・経済情勢および地政学的見地を踏まえ、将来のマレーシアでのビジネス機会とリスクを読み解くためのポイントを紹介した。前半では近年の政権交代などの政治イベントの変遷や制度的な前提条件を示しつつ、近い将来実施される可能性がある総選挙の開催時期について予想。同国における選挙の仕組みや現政権の動き、与党、野党の勢力状況や主な政党について説明を行った。

後半では、マレーシアにおける政治変動の他、人脈やビジネスコネクションの変化を含むビジネスリスクについて言及。常に次世代を見据えた成長セクターを意識しながら活動することで、日本企業の強みが活かされるとの期待感を示した。質疑応答では、マレーシアの中国や台湾企業とのつながり、マレー人を経済的に優遇する国策「ブミプトラ政策」など数多くの質問が寄せられ、川端氏は時間を超えても各質問に対して丁寧に回答していた。

日本マレーシア経済協議会は、1977年、両国首相の賛同を経て、両国経済界相互の理解と親善を深め、通商、投資、経済協力、観光および文化交流の促進を目的に日本側に日本マレーシア経済協議会（JAMECA）、マレーシア側にマレーシア日本経済協議会（MAJECA）が同年11月にそれぞれ設立された。今後も本協議会を通じて、二国間の貿易、投資、技術協力等の諸問題を中心に活発な意見を交換し続けていく。

【本件担当】

日本商工会議所/東京商工会議所 国際部 TEL 03-3283-7647